第九たいむず
No.14 2012.8.19 通刊1007号 担当 EIBIN
ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp
〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 080-5474-2673 (事務局長中村)

スペイン出発まであと46日になりました。まだ1か月以上もあると思うか、もう1か月とちょっとになってしまった、どちらでしょうか。10月3日は着実にやってきます。その日に備え、体調を万全にしておきましょう。ロンドンオリンピックに出場した選手たちのように。私たちがミュージズの戦士ですから。◇1613年(慶長18年)、支倉常長ら一行180余人を乗せた慶長遣欧使節船は1年もかけてスペインに到着しています。400年たった今は1日足らず。人類は魔法のようなスピードを獲得しました。

◆ 日本の歌「会津磐梯山」に楽譜の修正があります

既に7月22日(日)以来修正箇所を練習しておりますが、「会津磐梯山」に、『おはらしょうすけさん、なんでしんしょうつぶした』の合いの手が、冒頭と最後に入り、より民謡気分を盛り上げます。はじめての方は必ず追加楽譜を入手し、練習に備えましょう。

◆ 今後の予定(会費は先に徴収した金額で賄うことにしております。)

- ・結団式: 9月 9日(日) ホテル・メトロポリタン高崎 TEL027-325-3311
11:00~13:00 練習 13:00~15:00 結団式(賛助会員の方はこちらから)
- ・解団式: 11月17日(土) ビューホテル高崎 TEL027-322-1111
11:00~13:00 解団式及び写真交換会

◆ 第7回海外公演inバルセロナ 記念誌 編集委員を募集します!!

第7回海外公演も、19日のサマーレッスン、来月の結団式を経て、あつという間に出発です。今回の海外公演も、その活動を後世に残すため「記念誌」を発行します。先月の運営委員会で、編集委員会責任者を大里さん(バス)、副を稲葉さん(テノール)の両名で担当することになりました。9月9日の結団式の前に委員会を立ち上げたいと思います。つきましてはご協力頂く編集委員を募集致します。写真・記録とその整理、アンケートの取りまとめ等等。二人のおじさんに協力して、記念誌を作ろうという方、8月30日(木)までに、大里、または稲葉までにお申し出下さい。是非、記念誌を編集委員の皆さんの色に染めてください。よろしくお願い致します。編集って、面白いですよ。

◆ スペイン海外公演旅行への持ち物

- (1) 旅行会社によるチェックリストは9月9日にもらえますが、それをもとに自前のリストを作っておくと重宝します。忘れ物の防止、また要らないものもチェックできます。持ち物はなるべく削りましょう。
- (2) スーツケース(受託手荷物)の制限重量は23キログラム。機内持込手荷物も制限がありますので9月9日には説明を聞き洩らさないように。(航空会社により異なるため)
- (3) 持ち物で迷ったら、ヘビー海外旅行経験者(赤羽先生)にアドバイスを受けよう。
- (4) 顔写真(4.5×3.5)・・・パスポート紛失時の再発行用(おまじないで)。別に保持すること。
- (5) 筆記用具・・・記念誌作成時の原稿メモを毎日控えておくために必須です。
- (6) 下着、着替えは圧縮袋で整理。帰国時のお土産を入れる余地を作っておく。
- (7) クレジットカード・・・やはり便利です。現金は高額紙幣を持たないこと。
- (8) 変圧器・プラグ・・・外国でも対応可能製品がありますので事前にチュートリアルをチェック。
- (9) 舞台用衣裳(靴なども)・・・一番忘れないように。この分、普通旅行者より重くなります。

◆【スペイン語講座】 ホンのひと言でも、心が通うことがあります。

おはよう……ブエノス ディアス こんにちは…ブエナス タルデス 又はオラ！
こんばんは…ブエナス ノチェス はい…スイ いいえ…ノ OK…バレ
ありがとう…グラスィアス ごめんなさい…ペルドン さようなら…アディオス
乾杯(フォーマル時)……サルー！
高たかい…カロ 安やすい…バラト 多おほい…ムチヨ 少おほない…ウンポコ

【面白スペイン語】 スペイン語のDame「ダメ」は日本語(No)と逆で、英語の give me(くれる)という意味。日本語の拒絶が正反対になるので要注意。「やめて！」もスペインでは逆のニュアンス。

◆ 国民性ジョーク 1人の美女と2人の男性が無人島に漂流した設定でのジョーク。

- **スペイン人の場合: 2人の男は決闘して、勝った方が美女と結婚する。**
- アメリカ人の場合: 1人の男は美女と結婚して、残った1人は牧師になる。
- ドイツ人の場合: 1人の男は美女と結婚して、残った1人は戸籍係になる。
- フランス人の場合: 1人の男は美女と結婚して、もう1人の男は彼女と不倫する。
- ロシア人の場合: 美女は愛していない方と結婚して、3人で海辺に座って果てしなく嘆き悲しむ。
- イタリア人の場合: 何の気兼ねもなく2人の男は共に1人の美女を愛する
- 韓国人の場合: 2人の男は美女をさらに整形させ日本に輸出しようとする。
- **日本人の場合: どうしたら良いか、本社に問い合わせようとする。**

(ウィキペディア「無人島ジョーク」より引用)

◆ 漢字はクール！！ 「スペイン」を漢字で書くと…**西班牙**

作家、佐藤春夫の短編に『^{すぺいんけん}西班牙犬の家』という幻想小説があります。主人公の男性が愛犬と武蔵野の雑木林を散歩していると、洒落た洋館を見つけ、誰もいないので家の中に入ると、そこには、…という大正6年の小説とは思えないとても斬新なもの。バルセロナは、漢字で**巴塞羅那**。首都のマドリードは**馬德里**と書きます。(これ、本当！)バルセロナでの打ち上げの折、漢字でその都市名まで筆で書いて相手に渡せば、きっとスペインの方は喜びます。名前もガルシアなら**我流思亜**、ホセなら**輔世**、保瀬、マリアなら**摩理耶**、麻里弥などと。欧米圏で漢字は、クールと言われ、日本人が驚くほど人気があります。横書きに加え、縦書きにすると更に喜ばれると思います。カルメンなら**歌留面**かな。(人名は、万葉仮名風に音を合わせて自由に書いてOK。)

◆ スペイン人の気持ち 『さまざまな旅』逢坂 剛著(講談社)から引用

○フラメンコ、闘牛だけがスペインでない

「そもそもスペイン人は自主独立の気風の強い民族であって、それぞれの音楽や民族芸能がある。多くの外国人が、《フラメンコ》や《闘牛》でしかスペインを語らないことに、彼らは大きな不満を抱いている。それはわたしたち日本人が、《フジヤマ》や《ゲイシャ》を持ち出されて、いい気持ちがしないのと同じことである。セビリヤへ行くと、この町には床屋が多いのかと聞く外国人観光者が多くて閉口する、という話も聞いた。」

○「ドウエンデ」がないと本物でない！

「フラメンコでよく使う言葉に、《ドウエンデ》というスペイン語がある。フラメンコを見ているとき、アルティスタ(演者)が発する妖気のようなものを、身近に感じることもある。つまり鬼気迫るというか、何かがアルティスタに乗り移った状態や、見る者がそれと同じような感覚にとらわれる状態を、《ドウエンデ》と呼ぶのである。フラメンコの世界では、ドウエンデのない歌やギターは、本物とみなされない。」

◆ 訂正します。(スペインと日本との時差について…8時間→7時間に)

7月22日たいむず日曜版でスペインと日本の時差は8時間と掲載しましたが、2012年のスペインは10月28日(日)までサマータイムを導入していますので、合唱団がスペイン滞在中においては、通常の8時間から、1時間を引いた7時間が時差になります。時計の直し方を再確認！

♪ 現地では、「スペイン(英語)」のことを、親しみを込めて「エスパーニャ(スペイン語)」と言ってあげましょう。「ジャパン(英語)」は「日本(日本語)」のように。ユーロの換金も準備しましょう。